大総務第 111 号
令和３年２月５日

大阪市外郭団体評価委員会
委員長 阪口 彰洋 様

大阪市長　松井　一郎
（担当：総務局行政部総務課法人グループ）

諮問書

大阪市外郭団体等への関与及び監理事項等に関する条例（平成 25 年大阪市条例第 10 号）第７条第１項に規定する外郭団体である社会福祉法人大阪社会医療センターによる令和２年度の経営評価（対象事業活動）について、別紙のとおり、所管所属長である大阪市福祉局長から提出があったので、同条第４項に基づく意見聴取のため大阪市外郭団体の事業経営の評価等に関する指針を定める規程第４条第３号イに基づき諮問します。

《様式1》

【対象事業活動の実績に関する評価】

令和2年度　事業経営評価

団体名	（社福）大阪社会医療センター	所管所属名	福祉局

中期目標

⑴ 当該外郭団体の事業経営を通じて達成しようとする本市の行政目的又は施策の具体的な内容

あいりん地域及びその周辺地域において無料低額診療及び医療・福祉に関する相談支援等のサービスを総合的かつ一体的に提供する。

⑵ 中期目標期間

令和2年5月1日から令和7年3月31日までの5年

⑶ 中期目標の期間終了時において、⑴の行政目的又は施策によって実現しようとしている状態

令和２年12月に開院予定の病院において、無料低額診療及び医療・福祉に関する相談支援などのサービスを必要とする対象者に当該サービスが適切に提供されている状態

当該事業年度の評価

外郭団体の自己評価

当該事業年度の指標及び目標に基づく評価を踏まえた団体の総合的な評価

相談業務は着実に実績を上げており、予定通り進捗しているものの、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、各種会議や催しの開催が中止されて、再開がいつになるか見通せない状況であり、従来型の広報活動に制約が出てきた。そこで、令和２年12月１日の新病院開院を契機に、竣工披露式典・内覧会・各種視察等の機会をフル活用し、各種マスコミも動員しながら、少しでも利用者層を広げられるようPRに努めた。

最終目標達成見込み	最終目標達成に向けた課題及び課題解消に向けた次年度以降の取組について
ア	新型コロナウイルス感染症の終息に目途が立たないと、各種会議等の開催は見通せず、広報活動の制限を受けてしまうので、今後は会議体に頼らない広報活動（HPリニューアル、DVD作成等）を年度内に行い、当院の事業内容の一層の周知を図る。さらに、コロナウイルス対策に細心の注意を払いながら、新病院の各種視察等の機会を活用し、これまで以上に利用者層を広げられるよう努めて行く。
ア：順調 イ：遅れあり ウ：計画の見直し必要	

市の評価

当該事業年度の指標及び目標に基づく評価を踏まえた本市の総合的な評価

団体が提供する医療・福祉に関するサービスを、サービスの提供を必要とされる方に適切に提供するため、地域広報紙での情報提供や各種行政機関及び活動団体と連携した会議を通じた周知活動並びに医療従事者による医療相談会を開催して必要に応じて医療及び福祉につなげる啓発活動に努めたが、新型コロナウイルス感染症の拡大による活動全般の自粛という想定できない状況があり、目標達成には至らなかったことはやむを得ないものと判断する。しかし団体は懸案であった施設建替えを予定どおり完了させ、令和2年12月に新病院への移転開院を行い、これまで以上に地域に開かれた拠点病院として医療・福祉サービスを一体的に提供するための活動が実施できた。

助言等及び講ずるよう求める措置の内容【大阪市外郭団体等への関与及び監理に関する条例第７条第５項】（※必要な場合のみ）

対象事業活動の実績に関する評価(事業活動に関する事項)

取組－1　（※分野ごとの評価）

中期計画

団体が中期計画期間中に行政目標達成に向けて取り組む具体的な内容

当該地域における関係行政機関や活動団体などと連携し、当該団体が提供しているサービスの内容を、それを必要とする者やその支援者に広く周知すること。
人員の確保及び養成、周辺の各機関などとの連携に努め、相談支援の充実など当該サービスを安定的かつ継続的に提供することができる体制を強化すること。
【中期計画を策定していないため、中期目標の内容を転記】

指標	事業周知回数並びに会議開催回数及び参加回数					
目標値	R2目標（評価期間：5～12月）	進捗率	R2目標（年度）	進捗率		
	24回	－	38回	－		

年度計画達成状況

【計画】団体が当該事業年度に取り組む具体的な内容	【実績】団体が当該事業年度に取り組んだ具体的な内容
各種疾病、医療及び福祉に関する情報並びに実施している取組について地域広報紙での事業周知を行い啓発に努めるとともに、医療及び福祉を提供するうえで支援が困難であった事例について検討し、より良い支援につなげるとともに連携を強化するため、支援機関等との会議の主催や参加に取組む。	西成市民館発行の広報誌「ほのぼの通信」への当院記事掲載、近隣公共施設の定例会議「志水会」開催、あいりん地域の「モデルケース会議」・「担当者連絡会」への参加を通して、当法人が提供しているサービスに係る事業内容の支援機関への一層の周知を図った。

目標の達成状況

実績値	前々年実績	前年実績	R2年実績	目標達成率	達成状況
	－	－	20回	83.33%	b (i)

中期計画に対するの進捗状況【当該事業年度】	ア	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」	《達成状況》 a：目標達成　（ⅰ）取組は予定どおり実施　（ⅱ）取組を予定どおり実施しなかった b：目標未達成　（ⅰ）取組は予定どおり実施　（ⅱ）取組を予定どおり実施しなかった

外郭団体の自己評価

指標の達成状況	b (i)	a：目標達成　（ⅰ）取組は予定どおり進捗　（ⅱ）取組は予定どおり進捗していない b：目標全部未達成　（ⅰ）取組は予定どおり進捗　（ⅱ）取組は予定どおり進捗していない c：目標一部未達成　（ⅰ）取組は予定どおり進捗　（ⅱ）取組は予定どおり進捗していない

当該事業年度の達成状況について

積極的に広報活動を行っているが、新型コロナウイルス感染対策のため、「モデルケース会議」・「担当者連絡会」の開催が一部中止され、次の再開がいつになるか見通せない状況にあるが、新病院の竣工披露式典・内覧会（計４回開催）・各種視察等の機会をフル活用しながら、支援機関等との連携強化に努めた。

最終目標(中期計画)達成に向けた課題及び課題解消に向けた次年度以降の取組について

新型コロナウイルス感染症の終息に目途が立たないと各種会議等の開催が行えず、これまで行ってきた広報活動を通じての連携強化が多くの制限を受けてしまう。Web会議等の開催については、ネット環境がない関係機関等に配慮する必要もあることから、今後は、当院主催の会議では席の間隔を広く取るなど感染症対策の徹底に留意しながら定期的な会議開催に努める。また、必ずしも会議体に頼らない広報活動（HPリニューアル、DVD作成等）を通じて、支援機関等との連携強化を図っていきたい。

市の審査

指標の達成状況	b (i)
a：目標達成　（ⅰ）取組は予定どおり進捗　（ⅱ）取組は予定どおり進捗していない b：目標全部未達成　（ⅰ）取組は予定どおり進捗　（ⅱ）取組は予定どおり進捗していない c：目標一部未達成　（ⅰ）取組は予定どおり進捗　（ⅱ）取組は予定どおり進捗していない	
「様式1：中期目標(3)」に対する取組の有効性	ア　ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、取組を見直す

「外郭団体の自己評価」に対する審査結果

積極的に地域広報誌での周知を行い、支援機関等との会議主催や参加を行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により会議実施を断念せざるを得ない状況の中、目標達成に至らなかった。

「中期目標」達成の視点からみた審査結果

地域広報誌での周知や、支援機関等との会議主催及び参加を通じて団体の活動を伝えることは、医療・福祉サービスの提供が必要な者やその支援者が、団体がサービスを提供できることを知るうえで重要な活動と考える。新型コロナウイルス感染拡大の影響で会議等の開催がほとんど実施されず目標達成には至らなかったが、周知方法は多角化していくとのことなので、次年度以降も取組の継続が必要である。

対象事業活動の実績に関する評価(事業活動に関する事項)

取組－２　（※分野ごとの評価）

中期計画

団体が中期計画期間中に行政目標達成に向けて取り組む具体的な内容

当該地域における関係行政機関や活動団体などと連携し、当該団体が提供しているサービスの内容を、それを必要とする者やその支援者に広く周知すること。
人員の確保及び養成、周辺の各機関などとの連携に努め、相談支援の充実など当該サービスを安定的かつ継続的に提供することができる体制を強化すること。
【中期計画を策定していないため、中期目標の内容を転記】

指標	医療相談会の開催回数					
目標値	R2目標（評価期間：5～12月）	進捗率	R２目標（年度）	進捗率		
	8回	－	15回	－		

年度計画達成状況

【計画】団体が当該事業年度に取り組む具体的な内容	【実績】団体が当該事業年度に取り組んだ具体的な内容
周辺機関と連携して、健康や医療に関する各種事例を医師及び看護師が参加者に説明する方法、また疾病や健康に関する質問に個別に看護師が対応する方法により、必要に応じて医療及び福祉につなげる医療相談会を開催する。	近隣住民を対象とした「健康教室」の院外での開催、地域住民の憩いの場である「ふれあい喫茶」（萩及び梅南）への参加を通じて、当法人の事業内容のPRを行い、医療相談を通じて患者層の拡充を図った。

目標の達成状況

実績値	前々年実績	前年実績	R２年実績	目標達成率	達成状況
	－	－	2回	25.00%	b (i)

中期計画に対するの進捗状況【当該事業年度】	ア	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」	《達成状況》 a：目標達成　（ⅰ）取組は予定どおり実施　（ⅱ）取組を予定どおり実施しなかった b：目標未達成　（ⅰ）取組は予定どおり実施　（ⅱ）取組を予定どおり実施しなかった

外郭団体の自己評価

指標の達成状況	b (i)	a：目標達成　（ⅰ）取組は予定どおり進捗　（ⅱ）取組は予定どおり進捗していない b：目標全部未達成　（ⅰ）取組は予定どおり進捗　（ⅱ）取組は予定どおり進捗していない c：目標一部未達成　（ⅰ）取組は予定どおり進捗　（ⅱ）取組は予定どおり進捗していない

当該事業年度の達成状況について

積極的に広報活動を心掛けているが、新型コロナウイルス感染防止のため、健康教室やふれあい喫茶の開催がほとんど中止となり、再開もいつになるか見通せない状況にある。そこで新病院の竣工披露式典・内覧会（計４回開催）・各種視察等の機会もフル活用しながら各種マスコミも活用しつつ新病院のPRを行い、アウトリーチの代わりとなる個別相談業務につながるよう努めた。

最終目標(中期計画)達成に向けた課題及び課題解消に向けた次年度以降の取組について

新型コロナウイルス感染症の終息に目途が立たず各種催しの開催ができないと、これまで行ってきた医療相談を活用した広報活動が多くの制限を受けてしまうので、今後は感染症対策の徹底に留意しながら医療相談会を開催する。また大阪府に対して新型コロナウイルスワクチンの接種を行う病院として申請中であり、利用者や近隣住民へのワクチン接種を行い安心と安全を提供することを通じて、個別相談業務につなげるよう当院の事業内容の一層の周知を図っていきたい。

市の審査

指標の達成状況	b (i)	a：目標達成　（ⅰ）取組は予定どおり進捗　（ⅱ）取組は予定どおり進捗していない b：目標全部未達成　（ⅰ）取組は予定どおり進捗　（ⅱ）取組は予定どおり進捗していない c：目標一部未達成　（ⅰ）取組は予定どおり進捗　（ⅱ）取組は予定どおり進捗していない
「様式１：中期目標⑶」に対する取組の有効性	ア	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、取組を見直す

「外郭団体の自己評価」に対する審査結果

病院外で講義形式及び個別形式による相談を通じて医療及び福祉につなげる相談会を開催できるように努めたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催自体を断念せざるを得ず、目標達成に至らなかった。

「中期目標」達成の視点からみた審査結果

病院外での講義形式や個別形式による相談会の実施は、医療や福祉のサービスの提供を受けることが必要な状態にある者に、そのきっかけを提供する場となる重要な取組と考える。新型コロナウイルスの影響により、アウトリーチできる場は開催されていないが、保有する知識や経験に基づく感染症対策も活用し、次年度以降は効果的に医療相談会が実施できるよう、取組を進められたい。